

# 予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

## 事業名 **新**コロナ禍における観光誘客促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111 (内 3076)

E-mail：[c11334@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11334@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 補正要求額 72,700 千円 (現計予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正 要求額	72,700	0	0	0	0	0	0	0	72,700
決定額	72,700	0	0	0	0	0	0	0	72,700

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全国的に拡大する新型コロナウイルス感染症の影響で、県内の観光産業は、これまで経験したことのない非常に厳しい状況に置かれている。そのような中で、県で実施している「安心ステイ～ほっと一息、ぎふの旅」キャンペーンや「GoTo トラベルキャンペーン」により、宿泊客が徐々に戻りはじめた矢先に、令和2年7月豪雨災害により、下呂、高山、奥飛騨などを中心に多くのキャンセルが発生するなど、さらに厳しい状況となっている。

(一社)岐阜県観光連盟が実施する、閑散期の旅行商品造成及びプロモーションを支援する。

### (2) 事業内容

#### ① 家族向け旅行商品販売支援事業 (42,700 千円)

旅行会社が、主に県内の小学生とその家族を対象として造成する「家族で修学旅行プラン (仮称)」の販売を支援する。

## ②誘客プロモーション等支援事業（30,000千円）

新型コロナウイルスや令和2年7月豪雨災害により、大きな影響を受けた地域の観光協会等が実施する観光プロモーション活動を支援する。

### （3）県負担・補助率の考え方

岐阜県全域をまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

### （4）類似事業の有無 無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	72,700	①家族向け旅行商品販売支援事業 ②誘客プロモーション等支援事業
合計	72,700	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （1）各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

（人を呼び込み、地域の消費を拡大するために）

岐阜県観光振興プラン

### （2）後年度の財政負担

関係機関との連携、あるいはメディア等への積極的な働きかけにより、岐阜県の観光情報を効果的・継続的に発信する必要があるため、後年度も継続する。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	コロナ禍における観光誘客事業
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県観光連盟
補助事業の概要	<p>（目的）</p> <p>全国的に新型コロナウイルス感染症の影響で、県内の観光産業は非常に厳しい状況にある。県で実施している「安心ステイ～ほっと一息、ぎふの旅」キャンペーンや「GOTO トラベルキャンペーン」により、宿泊客が徐々に戻りはじめた矢先に、令和2年7月豪雨災害により下呂、高山、奥飛騨などを中心に多くのキャンセルが発生するなど、さらに厳しい状況となっている。</p> <p>（一社）岐阜県観光連盟が実施する、閑散期の旅行商品の造成及びプロモーション等支援する。</p> <p>（内容）</p> <p>① 家族向け旅行商品販売支援事業 旅行会社が、主に県内の小学生とその家族を対象として造成する「家族で修学旅行プラン（仮称）」の販売を支援する。</p> <p>② 誘客プロモーション等支援事業 新型コロナウイルスや令和2年7月豪雨災害により、大きな影響を受けた地域の観光協会等が実施する観光プロモーション活動を支援する。</p>
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他</p> <p>① 家族向け旅行商品販売支援事業</p> <p>② 誘客プロモーション等支援事業</p>
補助効果	岐阜県の観光消費額のさらなる増大と風評被害の払拭
終期の設定	終期 令和2年度

### （事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>新型コロナウイルス影響により大きな影響を受けた観光産業の観光入込客数、及び宿泊者数、観光消費額を対前年比プラスとする。</p>
--

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	目標 (H32)
① 観光消費額	5,000 億円
② 観光入込客数	4,600 万人

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度 (要求)
補助金交付実績				(要求額)	(要求額) 72,700 千円
指標①目標	5,000 億円	5,000 億円	5,000 億円	5,000 億円	5,000 億円
指標①実績	4,601 億円	4,175 億円	4,172 億円	(推計値)	(推計値)
指標①達成率	92.0%	83.5%	83.4%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標	4,600 万人	4,600 万人	4,600 万人	4,600 万人	4,600 万人
指標②実績	4,696 万人	4,556 万人	4,603 万人	(推計値)	(推計値)
指標②達成率	102.1%	99.0%	100.1%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項  
特に宿泊施設業者は、施設キャパシティの制約を受けるため、落ち込んだ宿泊客を一気に取り戻すことが困難なため、継続的な支援が必要になる。

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い    △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○    新型コロナウイルス感染症により多大な影響を受けている県内観光を復活させるため、不可欠な事業であり、県が実施すべきものである。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	—
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている    △：向上の余地がある</p>	
(評価)	

(事業の見直し検討)

<p>継続・削減・統合・廃止 (理由)</p>
-----------------------------